授業科目等の概要

（社会福祉専門課程 介護福祉学科）平成25年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			人間の尊厳と自立	人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性を理解する。	1・前	30		○			○			○	
○			人間関係とコミュニケーション	自己理解と他者理解によって人間関係の形成のためのコミュニケーション能力を習得する。	1・前	30		○			○			○	
○			社会の理解１	わが国の社会保障の基本的なしくみを学習する。	1・前	30		○			○			○	
○			社会の理解２	介護実践に関連する諸制度、障害者自立支援制度について学習する。	1・後	30		○			○			○	
○			社会の理解３	介護実践に必要な介護保険制度について学習する。	1・後	30		○			○		○		
○			地域福祉	地域住民のもつ問題に対する社会福祉施策と、住民相互の連帯を学ぶ	2・前	30		○	△		○	○		○	
○			レクリエーションワーク	レクリエーションを通してコミュニケーション能力を養う。	1・後	30		△	○		○		○		
○			情報処理	各種情報機器の原理と必要な情報機能の知識を習得する。	2・前	30			○		○			○	
○			基礎介護総論１	尊厳の保持と自立支援を柱に介護福祉士の役割を学ぶ。	1・前	30		○			○			○	
○			基礎介護総論２	新しい介護の考え方を理解し自立に向けた介護を学ぶ。	1・後	30		○	△		○		○	○	
○			基礎介護１	高齢者や障害者のくらしを理解しその人らしい生活を学ぶ。	1・前	30		○			○		○		
○			基礎介護２	多様な介護サービス提供の場と多職種の連携と記録の方法を学ぶ。	1・前	30		○			○			○	
○			基礎介護３	障害のある人を支えるコミュニケーションの方法を学ぶ。(手話・点字)	1・前	30		△	○		○			○	
○			基礎介護４	介護における安全の確保とリスクマネージメント、他職種との連携について学ぶ。	2・前	30		○	△		○		○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーション技術１	介護におけるコミュニケーションの意義と基本を学ぶ。	1・後	30		○			○		○		
○			コミュニケーション技術２	介護場面での利用者や家族とのコミュニケーションを学ぶ。	2・前	30		△	○		○		○	○	
○			生活支援技術１	生活の理解を根底に置き生活支援の考え方を学ぶ。又、利用者の状況に応じた睡眠と安眠を促す介助を学ぶ。	1・前	30		△	○		○		○		
○			生活支援技術２	安全で気兼ねなく動けることを支える介護の工夫を学ぶ。	1・前	30		△	○		○		○		
○			生活支援技術３	生活習慣における装いを自立に向けた身支度を通して学ぶ。	1・前	20		△	○		○		○		
○			生活支援技術４	食事を楽しむ環境づくりと食事介助の技法を学ぶ。	1・後	20		△	○		○		○		
○			生活支援技術５	気持ちのよい排泄の介護と状況に応じた支援技術を学ぶ。	1・後	30		△	○		○		○		
○			生活支援技術６	入浴や清潔の保持とその方に応じた支援技術を学ぶ。	1・後	30		△	○		○		○		
○			生活支援技術７	様々な障害に応じた介護方法を学ぶ。	2・前	20		△	○		○			○	
○			生活支援技術８	終末期における介護の意義と介護方法を学ぶ。	2・前	30		○	△		○		○	○	
○			生活支援１	心地よい生活の場の工夫と自立に向けた住居環境を学ぶ。	1・前	30		○	△		○			○	
○			生活支援２	家事に参加することを支える家事の介助の技法を学ぶ。	2・前	30		△	○		○			○	
○			生活支援３	家事を支える技法として調理方法を学ぶ。	2・前	30		△	○		○			○	
○			介護過程１	介護過程の意義と目的を学ぶ。	1・後	30		○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			介護過程２	介護過程の展開の仕方と実践的展開を実習と併わせて学ぶ。	1・後	30		△	○		○		○		
○			介護過程３		2・前	30		△	○		○		○		
○			介護過程４		2・前	30		△	○		○		○		
○			介護過程５		2・後	30		△	○		○		○		
○			介護総合演習１	実習に必要な知識や技術など総合的に学ぶ。	1・前	20		△	○		○	○	○		
○			介護総合演習２		1・後	40		△	○		○	○	○		
○			介護総合演習３		2・前	30		△	○		○	○	○		
○			介護総合演習４		2・後	30		△	○		○	○	○		
○			介護実習Ⅰ-１	介護を必要とする方の様々な生活の場を実習により学ぶ。	1・後	35				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅰ-２		1・後	35				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅰ-３		1・後	70				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅰ-４		2・前	35				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅰ-５		2・前	21				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅱ-１	学習した知識や技術を総合して介護現場で実践力を習得する。	2・前	119				○		○	○	○	○
○			介護実習Ⅱ-２		2・後	140				○		○	○	○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			発達と老化１	人間の成長と発達・老化の基礎及び高齢者の健康について学ぶ。	1・後	30		○			○		○	○	
○			発達と老化２		2・前	30		○			○		○	○	
○			認知症の理解１	認知症の基礎的理解とケアの考え方を学ぶ。	1・前	30		○			○			○	
○			認知症の理解２	認知症に伴う心と体の変化とケアを通して実践的に学ぶ。	2・前	30		○	△		○		○	○	
○			障害の理解１	障害の概念を通して基礎的知識を習得する。	1・後	30		○			○			○	
○			障害の理解２	様々な障害を理解し環境などを配慮した介護の視点を習得する。	2・前	30		○			○			○	
○			こころのしくみ	人間の欲求の理解と心の仕組みなどを学ぶ。	1・後	30		○			○			○	
○			こころとからだ１	身支度や移動・食事などの心とからだの仕組みを学ぶ。	1・前	45		○			○		○	○	
○			こころとからだ２	入浴・排泄・睡眠などの心とからだの仕組みを学ぶ。	1・後	45		○			○		○	○	
	○		福祉レクリエーション	レクリエーションの考え方を理解しレクリエーション活動を学ぶ。 (レクリエーション・インストラクター資格取得科目)	1・前後	40		○	△		○		○		
	○		救急法	緊急時における心肺蘇生法やAEDの使用法などを学習する。 (資格取得可能科目-赤十字救急法救急員)	2・後	20		△	○		○		○		
	○		障害者スポーツ	障害者のスポーツを通して障害者のサポートを学習する。 (資格取得可能科目-障害者スポーツ指導員)	1・後	12		○	△		○	○	○	○	
合計				55科目	1877単位時間(　　単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学則に規定する教育課程を修了し、全ての履修時間の認定を受けたものについて卒業判定会議の議を経て学院長が卒業認定をする。 原則指定された教育課程を全て履修とする。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。